


# カーボンフットプリント 登録情報

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-CI05-14003-B	1.7 製品写真 
1.2	製品名称 (日本語)	Hitachi Virtual Storage Platform G1000	
	製品名称 (英語)	Hitachi Virtual Storage Platform G1000	
1.3	製品型式	H-65AD-CBXA/A-65AD-CBXA/A-65AD-CBXAY	
1.4	製品の主要仕様・諸元	ハイエンドディスクアレイ -記憶容量 4,511TB -想定使用年数 5年 -用途 その他のもの -ディスク回転数 7.2krpm -ディスクサイズ,台数 3.5inch-1,152台	
1.5	CFP算定単位	販売単位(台あたり)	
1.6	公開日	2014年4月23日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名 (日本語)	株式会社 日立製作所
	事業者名 (英語)	Hitachi, Ltd.
2.2	電話番号	03-3258-1111

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	610	t-CO <sub>2</sub> e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	31	t-CO <sub>2</sub> e
	生産段階	7.6	t-CO <sub>2</sub> e
	流通段階	0.72	t-CO <sub>2</sub> e
	使用・維持管理段階	580	t-CO <sub>2</sub> e
	廃棄・リサイクル段階	0.51	t-CO <sub>2</sub> e

数値表示、追加情報の内容		
数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		27 kg-CO <sub>2</sub> e
	自社比 -37%	従来機種と比較した際の、1TB・1年あたりのCO <sub>2</sub> 排出量の削減率
3.3	追加情報の記載内容	従来機種（発売時期 2010年9月）<Hitachi Virtual Storage Platform>と比較した際の、1TB・1年あたりのCO <sub>2</sub> 排出量の削減率をCFPマークに記載
		<table border="1"> <tr> <td> <b>【対象製品】</b>            ・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform G1000            ・型式 H-65AD-CBXA その他            ・CO<sub>2</sub>排出量            -製品あたり 610 t-CO<sub>2</sub>e            -1TB・1年あたり 27 kg-CO<sub>2</sub>e/TB 年            ・主な製品仕様            -記憶容量※1 4,511TB            -想定使用年数※2 5年            -用途※3 その他のもの            -ディスク回転数 7,2krpm            -ディスクサイズ,台数 3.5inch-1,152台         </td> <td> <b>【比較製品】</b>            ・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform            ・型式 H-65AC-CBXA その他            ・CO<sub>2</sub>排出量            -製品あたり 550 t-CO<sub>2</sub>e            -1TB・1年あたり 43 kg-CO<sub>2</sub>e/TB 年            ・主な製品仕様            -記憶容量※1 2,521TB            -想定使用年数※2 5年            -用途※3 その他のもの            -ディスク回転数 7,2krpm            -ディスクサイズ,台数 3.5inch-1,280台         </td> </tr> </table> <p>・測定条件：使用時電力は、省エネ法(2011年度規定)で定める特定の測定方法（最大構成、Idle状態）により測定しております。</p> <p>対象製品の特徴（従来機種比較）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能、高スケーラビリティ（最大4,511TBの大容量化等）</li> <li>・大容量3.5"/2.5"HDD(Hard Disk Drive)採用によるI/O効率の向上</li> <li>・各unitの小型化</li> <li>・集積回路の統合による回路集約を図り、消費電力/発熱量の低減を実施</li> </ul> <p>※ この製品の販売単位のCFP値は、CO<sub>2</sub>排出量(1TB・1年あたり)に記憶容量[TB]、及び想定使用年数[年]を乗じ算出されます。</p> <p>※1 本容量は1KByte=1,000Byteとして計算した値です。</p> <p>※2 想定使用年数は、法定耐用年数（電子計算機 その他のもの 5年）として計算しております。</p> <p>※3 省エネ法で定める磁気ディスク-サブシステムの用途による製品区分に対応します。</p> <p>従来機種は過去に検証を受けていますが、最新の二次データを使用して再算定し、再検証を受けています。</p>
<b>【対象製品】</b> ・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform G1000 ・型式 H-65AD-CBXA その他 ・CO <sub>2</sub> 排出量 -製品あたり 610 t-CO <sub>2</sub> e -1TB・1年あたり 27 kg-CO <sub>2</sub> e/TB 年 ・主な製品仕様 -記憶容量※1 4,511TB -想定使用年数※2 5年 -用途※3 その他のもの -ディスク回転数 7,2krpm -ディスクサイズ,台数 3.5inch-1,152台	<b>【比較製品】</b> ・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform ・型式 H-65AC-CBXA その他 ・CO <sub>2</sub> 排出量 -製品あたり 550 t-CO <sub>2</sub> e -1TB・1年あたり 43 kg-CO <sub>2</sub> e/TB 年 ・主な製品仕様 -記憶容量※1 2,521TB -想定使用年数※2 5年 -用途※3 その他のもの -ディスク回転数 7,2krpm -ディスクサイズ,台数 3.5inch-1,280台	
3.4	備考	—

4. CFP算定結果の解釈		
4.1	CFP算定結果の解釈	使用段階における温室効果ガス排出量が最も多いため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用段階の算出条件は一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります。

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	IT機器	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-CI-05
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースver.1.01（国内データ）を優先して利用しつつ、利用可能データ（国内）ver.1.04で補完した。	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	個品別検証方式	6.2 システム認証番号 —
6.3	検証番号	CV-CI05-14004	6.4 検証合格日 2014年05月23日

7	備考	変更日：2014年05月26日 容量修正により補正検証を実施 2014年06月06日 製品型式の変更による追加削除、容量の説明追記
---	----	--

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。  
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>